



## ひので映画大使最新版

### 第39回映画大使「アフター・アース」

期 日 平成25年6月21日(金) 公開初日  
 場 所 ワーナー・マイカル・シネマズ日の出

#### 【ストーリー紹介】

西暦3072年、とうの昔に地球を去った人類は、惑星プライムに移住していた。伝説の兵士サイファと、父と距離を置く息子キタイが乗った宇宙船がトラブルにより大破、緊急シグナル「ビーコン」を載せた機体の一部が見知らぬ惑星に落下してしまう。

生存者は彼ら2人だけ。父の代わりにビーコンを探す事を申し出たキタイに父は告げる。「ここは人類が捨てた地球」だと…。

もはや人類が住む事など出来ないほど生態系が変化してしまった地球で、未知なる「何か」が彼らを襲う！！

「シックス・センス」のM・ナイト・シャマラン監督と、ハリウッドを代表する俳優、ウィル・スミス、彼の実の息子ジェイデン・スミスが贈る衝撃のドラマ！！



### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### ▶ 映画大使の「第一声！」

未来の地球の姿に衝撃！

素晴らしい映像美に圧倒！

親子の絆に感動！

ウィル・スミスとジェイデン・スミスの親子共演が良かった！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

#### ▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

私はSFが好きなのですが、SFもって割と親子の絆を描いたものが多いですね。結構合っている気がします。それと、未来の生き物がリアルに描かれていて、どうやって撮影しているんだろうと興味が沸きました。

Bさん

ドキドキしながら観ました。最初はギスギスしていた親子の関係も、息子が一つ一つ困難を乗り越え、成長していくと共に絆が深まっていく様子が伝わり、感動しました。動けない状況にある父親の方もつらかったと思います。

Cさん

遠い未来が舞台のSF作品は多いですが、監督が「シックス・センス」の監督で、物語を深く作り込む方なので、注目していましたが、今回は親子の絆がテーマのためか、物語的にひねった所があまりなかったかな、と感じました。しかし、物語が進むにつれて、「英雄のつらさ」みたいなものを本音で語らせるあたりが、監督らしいかなと、思いました。

Dさん

私はあまりSF映画を観ないのですが、ハリウッド映画ならではの迫力がありませんでしたが、ゲーム感覚で進んでいくあたりはもう少し工夫が欲しかったかなと思いました。

Eさん

子どもの成長話でしたよね。若い年齢層の人達が観たらどう感じるのでしょうか。

Fさん

親子共演でしたが、まず映画が始まって、「この子大きくなったな」って思いました。3歳くらいの時にも共演していましたよね(幸せのちから)。SFでしたので多少肩がコリましたが、親子の絆はかなり強く感じられる作品でした。

Gさん

まず最初にCGの凄さを感じました。どこまでが本物でどこが作り物か、全然分からないですよね。凄いです。アバター的な面白さがありましたね。1000年後が舞台でしたが、未来ならではのというか、あまりそれを感じる事は出来なかったかな…。でも楽しめました。

### 📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・原作がウィル・スミスだったので、彼の個性がよく出たストーリーだったと思います。
- ・「シックス・センス」のシャマラン監督らしい描写もありましたね。夢のシーンとかドキッとしました。
- ・フィルムの色というか、かなり綺麗な画像でしたね。
- ・息子の役名がキタイでしたが、これは日本語の「期待」から引用したそうです(ウィル・スミスが言っていたそうです。ちなみにお姉さんの名前は「センシ」でした)。
- ・音楽などもオリエント系なところがありました。
- ・人類が捨てた地球が、長い年月をかけて人類が近づけない星に進化するという設定は良かったですね。ただ具体的な描写がもう少しあれば、もっと良かった！
- ・地球以外の星に移住出来る日って本当に来るのですかね。
- ・「感情」をコントロール出来ればと思う気持ちもありますが、でもそれは「人間らしさ」を失ってしまうような気がします。

### 📌 まとめ

1000年後の未来を描く作品でした。SFの舞台としてはもってこいで、M・ナイト・シャマラン監督、そしてウィル・スミスが出ているとなれば、更に期待は否応なしに高まってしまいます。しかし、今回の「アフター・アース」については、そういう意識を持たず、一つの新作SF作品として観た方がもっと楽しめると思います。ハリウッド作品なので、CGは相変わらず素晴らしい一言です。ジェイデン・スミス君もカッコよく成長しました。今後に期待(役名もキタイでした)です！

親子の絆をテーマにするのはとても難しいと思います。色々な作品で取り上げられるテーマですが、時代背景や設定によって描かれ方は様々です。今作のようなSFではアクションに誤魔化される事も多々ありますが、その辺の脚本はしっかりしていたと思います。ラストの親子の抱擁にあなたは何を感じるでしょうか…。

迫力の作品を是非、劇場の大スクリーンでお楽しみください！

➡ 関連ページ: [これまでのひので映画大使](#)

➡ 関連ページ: [ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶